

経営比較分析表（令和4年度決算）

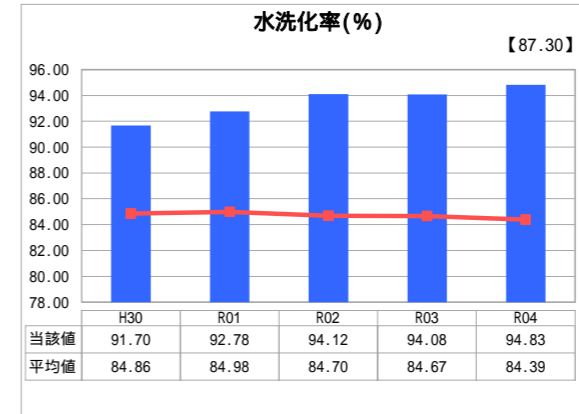
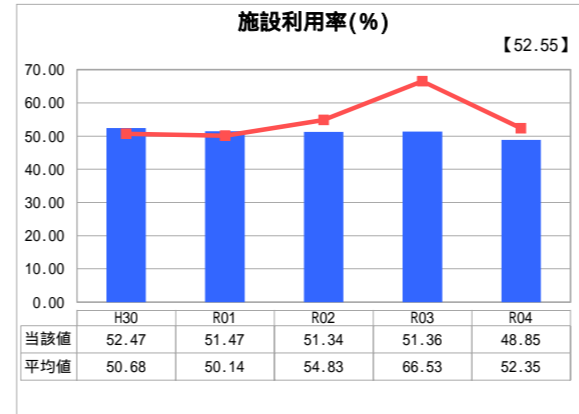
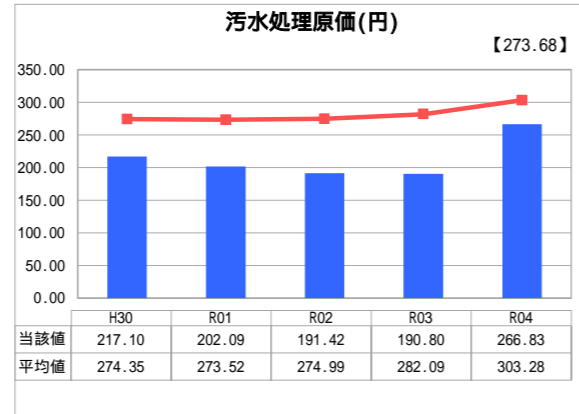
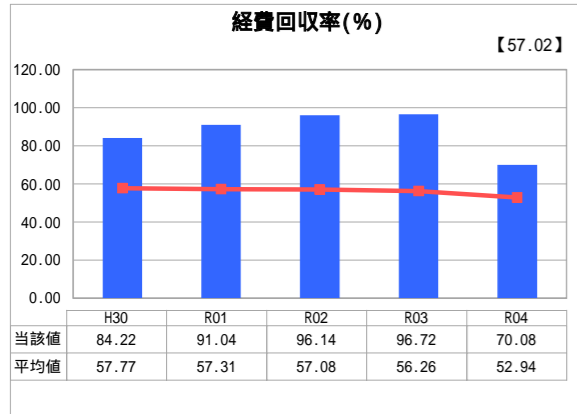
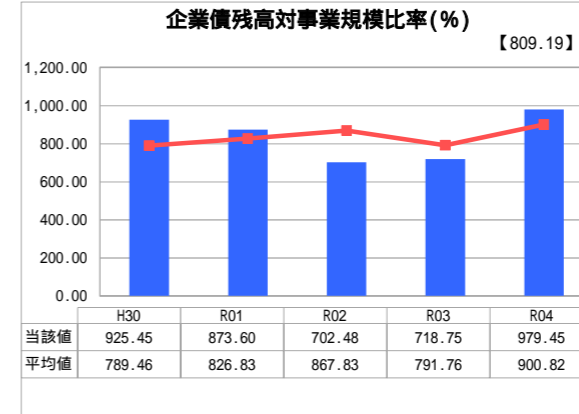
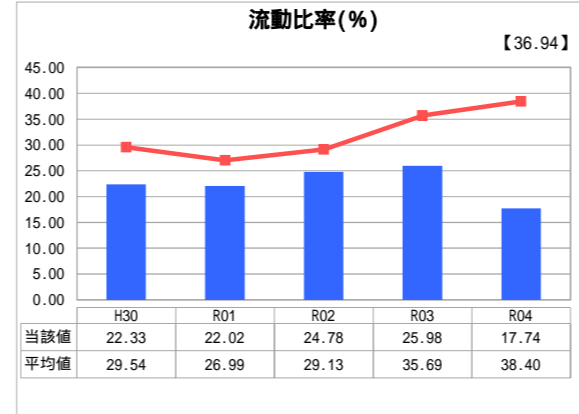
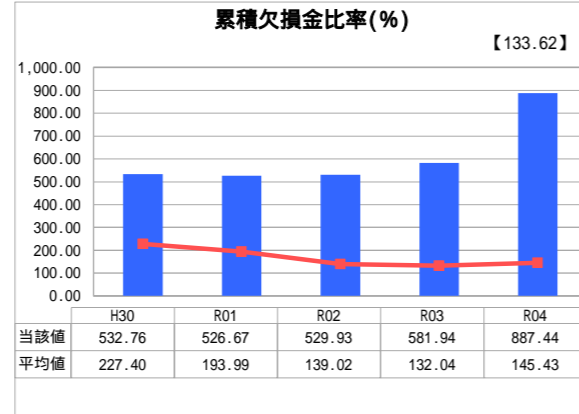
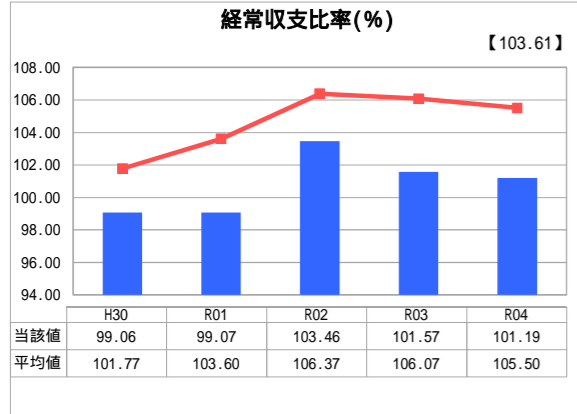
兵庫県 西脇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.43	8.99	96.70	3,630

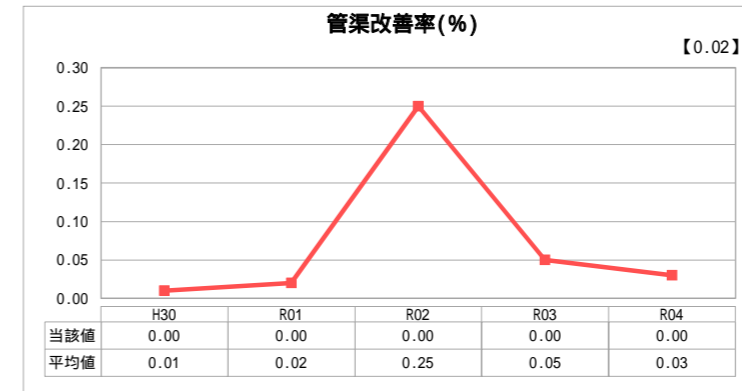
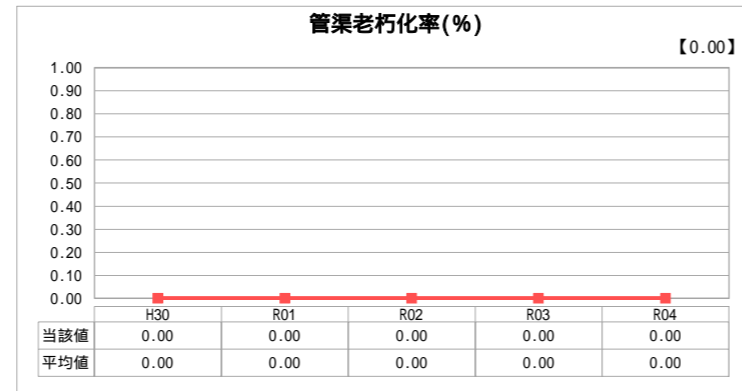
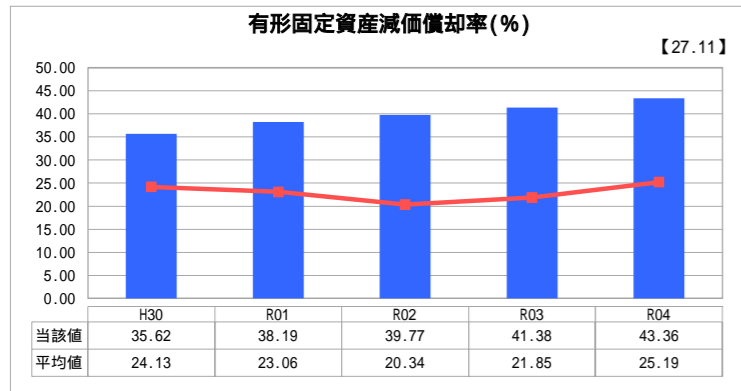
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,716	132.44	292.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,464	1.33	2,604.51

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%以上であるが全国平均及び類似団体平均より低く、年度ごとに増減があるので、安定した経営を維持するため更なる費用削減が必要です。

累積欠損金比率は、昨年度より増加し、類似団体平均の約6倍となっています。今後は、公共下水道と特定環境保全公共下水道への統合によって改善されると見込んでいます。

流動比率は、余剰資金を保有していないため、全国平均及び類似団体平均を下回っています。

企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と同程度となっています。今後は、企業債借入額よりも償還のスピードが速くなるため、比率は下がっていくと見込んでいます。

経費回収率は、公共下水道への統合が進み前年度より使用料収入が大幅に減少したことにより、汚水処理費も減少したものの、令和4年度は70.08%となりました。全国平均及び類似団体平均は上回っています。

汚水処理原価は、公共下水道への統合が進み有収水量が減少していることから、前年度より約40%程度高くなりました。全国平均及び類似団体平均は下回っています。

施設利用率は、前年度より少し低くなっています。処理施設の統廃合を進めることにより、更に低くなっていくと見込まれます。

水洗化率は、毎年未接続世帯を訪問し水洗化啓発に努めた結果、上昇傾向にあります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、年々上昇し施設の老朽化が進んでおり、全国平均及び類似団体平均より高くなっています。

法定耐用年数を超えた管渠はありませんので、管渠老朽化率及び管渠改善率は0です。

全体総括

農業集落排水は、旧西脇市区域は平成6年4月1日、旧黒田庄町区域は平成9年4月1日に供用開始し、普及率はほぼ100%となっています。

しかし、人口減少や節水意識の向上などにより、使用料収入が減少傾向にある中で、処理施設の老朽化に伴う修繕等の維持管理経費が年々増加しています。

そのため、使用料収入につながる水洗化率の向上を図るとともに、現在、令和4年3月に改定した「下水道事業経営戦略」に基づき、旧西脇市区域は農業集落排水処理区を流域下水道へ統合、旧黒田庄町区域は農業集落排水処理区を特定環境保全公共下水道へ統合を進めています。将来訪れる更新費用の削減、維持管理費の削減に努め、経営基盤を強化していきたいと考えています。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。